

【医薬系研究交流サロン】 サテライトイベント

国民の健康な生活を支えるための 「薬価」と「診療報酬」

—医療学生・従事者及び創薬・医療機器系アントレプレナーに必要な基礎知識—

2023年3月22日(水) 講演：10:00～11:30 意見交換会：11:30～



紀平 哲也 氏

現職：内閣府 食品安全委員会事務局 評価第一課長

略歴：1995年 大阪大学大学院薬学研究科修士課程修了、薬剤師、博士（薬学）。

1995年に厚生省（当時）入省。厚生労働省では、新薬の承認審査、薬価算定・調剤報酬、薬剤師・薬局関連施策等を担当。そのほか、科学技術庁、国立医薬品食品衛生研究所医薬品医療機器審査センター、(独)医薬品医療機器総合機構（PMDA）、米国食品医薬品局（FDA）、富山県へ出向。2018年8月よりPMDAワクチン等審査部長。2020年8月より厚生労働省保険局医療課薬剤管理官として令和4年度診療報酬改定・薬価改定を担当。2022年6月より現職。

「薬価」「診療報酬」「調剤報酬」について考えたことはありますか？

これらはどのように定められ、患者本人のみならず医療全体にどのような影響を与えているのでしょうか。実は医学部・薬学部の講義で触れられていない内容です。創薬を行う上で避けて通れない「お金」の話。

一度しっかりと議論してみませんか？

ベンチャー起業を考える方には必須の知識となります。是非ご参加ください。



申込〆切：2023年3月20日（月）

<https://forms.gle/t7oNHck5MsRS55UQ8>

開催地：医学部構内先端科学研究棟 1階 セミナー室（講演はハイブリッド形式）

<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r-i> (MAP-16)

対象者：海外進出を目指すスタートアップ及びアカデミア

京都大学に所属する学生、教職員。各種連携企業に所属する方

講演内容：・社会保障における医療費・薬剤費の動向と薬価の仕組み（国際比較を含む）

・診療報酬から見る薬剤師の役割

言語：日本語

定員：50名程度

注意事項

① 意見交換会はオンサイトのみの実施となります。

② 講義終了後にアンケート調査を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。

③ 意見交換会の内容については、ご発言者が分からない形で開催報告書として公開させていただきます。

